

市内の福祉関係相談窓口

高齢者の福祉サービスや生活などの相談

相談窓口	電話番号	FAX番号
地域包括支援センターきらら	28-9323	28-9322
彦根市 高齢福祉推進課	23-9660	30-9231

障がい者の福祉サービスや生活などの相談

相談窓口	電話番号	FAX番号
基幹相談支援センター ステップアップ21	35-0008	35-2123
彦根市 障害福祉課	27-9981	30-9231

子ども・子育ての保健・福祉サービスなどの相談

相談窓口	電話番号	FAX番号
彦根市 子育て支援課 (子育て相談)	26-0994	26-1768
彦根市 健康推進課	24-0816	24-5870

どんな小さなことでもご相談下さい

彦根市社会福祉協議会
電話番号：22-2821 FAX番号：22-2841

心配ごと相談
(月～金曜日の10時～12時、13時～16時開所)
電話番号：22-0294

※またはお住まいの地域の**民生委員さん**
にご相談ください

数字で見る河瀬学区の“今”

	河 瀬 学 区						彦 根 市	
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	世帯数	総人口	高齢化率	総人口	高齢化率
2021年	1428	5373	1853	3706	8654	21.4%	111972	25.7%
2020年	1402	5359	1841	3650	8602	21.4%	112480	25.3%
2019年	1422	5406	1826	3639	8654	21.1%	112928	24.8%
2018年	1412	5419	1799	2601	8630	20.8%	113073	24.5%
2017年	1405	5365	1780	3508	8550	20.8%	112688	24.2%

※出典/彦根市(令和3年9月30日現在)

※滋賀の高齢化率：26.7%(2022年1月1日時点) 出典/滋賀県HP

※日本の高齢化率：29.1%(2021年9月15日時点) 出典/総務省統計局「人口推計」

河瀬学区 第2次住民福祉活動計画

策 定：河瀬学区社会福祉協議会

編集・発行：社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会
〒522-0041 彦根市平田町670(彦根市福祉センター別館1階)
連絡先 0749) 22-2821 FAX (0749) 22-2841
ホームページ <http://www.hikone-shakyo.or.jp>



ホームページ

この計画書は、「赤い羽根共同募金」の助成金で作成しています

2022年度>>>2026年度

第2次

河 瀬 学 区 住 民 福 祉 活 動 計 画

かおと顔を合わせ

わをつなぎ

世代を越えて助け合えるまち



河瀬学区は歴史ある杜寺仏閣や豊かな農村集落が点在している中で、JRの駅にも近く近年、子育て世代を対象とした新興住宅が増加しており、子ども達も増え続け活気のある地域となっています。

河瀬学区社会福祉協議会では、世代を超えて**キラッと光る**住みよい町づくりを目標に子ども達にとっても生まれ育って良かったと思えるような心に残るふるさとの町づくりを目指し、2022年度～2026年度から5年間、この計画に基づいて、住民福祉活動に取り組んで参ります。

①生きがいを感じる町づくり

- ☐ ボランティア活動でお互いに喜び合える町づくりをしよう
- ☐ 教えと学びで趣味を広げ、お互いが成長できる町づくりをしよう
- ☐ 一人一人が健康に役立つ習慣を身につけ充実した人生を送ろう

②ふれあいの町づくり

- ☐ みんなが集まれるサロンでふれあいの町づくりをしよう
- ☐ 日常的に声かけをする習慣づけをしてより良い関係をつくろう
- ☐ 世代を超えて交流できるようなイベントを行いみんなで参加しよう

③安全安心の町づくり

- ☐ 災害時みんなが協力し合える町づくりをしよう
- ☐ 地域が一丸となってみんなの守りで防犯体制を整えよう
- ☐ 地域で見守り合って子ども中心の安全な通学路にしよう

④支え合いの町づくり

- ☐ 誰でも気軽に立ち寄れる憩いの場づくりをしよう
- ☐ お互いに話し合いのできる仲間づくりをしよう
- ☐ 空き家、空き地の見守りや活用を図ろう

キラッと光る

ふるさと

かわせの町づくり

⑤見守りのある暖かい町づくり

- ☐ 子どもと高齢者を見守り思いやる暖かい町づくりをしよう
- ☐ 地域 みんなが相談や話し相手になれる町づくりをしよう
- ☐ 見守りから助け合いができる町にしよう

- ・ 年々、人口が増えてきているまち
- ・ ゴーヤとひまわりの多いまち
- ・ 町民が組単位で機能しているまち
- ・ 環境美化に取り組む、花のきれいなまち
- ・ 町内の各組織団体が充実しているまち
- ・ 行事に多くの人が協力してくれるまち
- ・ 伝統行事が長く継続されているまち
- ・ 自然が多く緑豊かなまち



河瀬はこなまち